

令和8年度 2年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
舞台芸術	身体表現	2	2	文系(選択者)

使用教科書	副教材等
「基礎から始める演技トレーニングブック」(王様出版)	

科目の目標
音声による表現と身体による表現をバランスよく融合させる技術を身につけさせることによって、自己の表現力を発達させる。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	身体・音楽・造形表現に関する様々な表現方法について理解し、自分の体や感性を十分に働かせて表現豊かに活動している。
② 思考・判断・表現	互いの発想を認め、協力しながら表現活動を工夫している。身体表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって表現を創意工夫することができる。
③ 主体的に学習に取り組む態度	身体・音楽・造形表現に粘り強く取り組んだり、学習を調整しようとしたりするなど、主体的に活動しようとしている。
評価方法	
レポート提出・実技及び授業中の活動の様子を総合的に評価する。	

学習計画						
月	【単元名】	【内容】	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	身体づくり	演技者としての身体をつくる	ストレッチ・基礎体力づくり	○		○
5	身体訓練(1)		ダンスの基本ステップの習得、リズム運動、緊張・脱力等の身体訓練	○		○
6 7	身体訓練(2)		ジャズダンス等のダンスレッスン、発声・活舌等の言語訓練	○	○	○
9 10	表現力の向上	総合的な演技力の向上	ステップの組み合わせ、身体・表情の使い方、マイム、感情表現等の訓練	○	○	○
11 12	効果的な表現の工夫		脚本を用いた役作りの実践	○	○	○
1	芸術発表会	公演の実施	受講生による作品発表	○	○	○
2	一年間の振り返り	レポート作成	発表会の反省に基づき、個々の課題を確認する。	○	○	○

令和8年度 2年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
舞台芸術	舞台基礎	4	2	文系(選択者)

使用教科書	副教材等
「基礎から始める演技トレーニングブック」(王様出版)	

科目の目標
<p>演者としての訓練を通して自己表現力を高め、興味・関心に応じた舞台スタッフとしての基礎的知識・技能を身につける。</p>

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	舞台構造の基礎的知識と舞台表現において必要となる技能を学び活用できる。
② 思考・判断・表現	演目の設定を判断し、状況に応じた表現方法を習得する。
③ 主体的に学習に取り組む態度	舞台への興味を持ち、自らの身体を使った表現の習得に努める。
評価方法	
レポート提出・実技及び授業中の活動の様子を総合的に評価する。	

学習計画						
月	【単元名】	【内容】	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4 ～ 7	演者としての身体づくり	身体訓練	緊張脱力・表情など身体の使い方の訓練	○		○
	舞台の基礎	舞台の構造	舞台機構・照明・装置などの基本用語の習得	○		○
9	作品作りの実際	班分けによる短編作品の上演	演技者とスタッフに分け、短編脚本を用いた授業内発表の実施	○	○	○
10 ～ 12	効果的な表現の工夫	公演作品選定・稽古	芸術発表会に向けての作品作り	○	○	○
1	芸術発表会	公演の実施	受講生による作品発表	○	○	○
2	一年間の振り返り	レポート作成	発表会の反省に基づき、個々の課題を確認する。	○	○	○